



あなたの夢を応援します。

富山銀行

富山銀行と富山大学が 連携して取り組む地域活性化

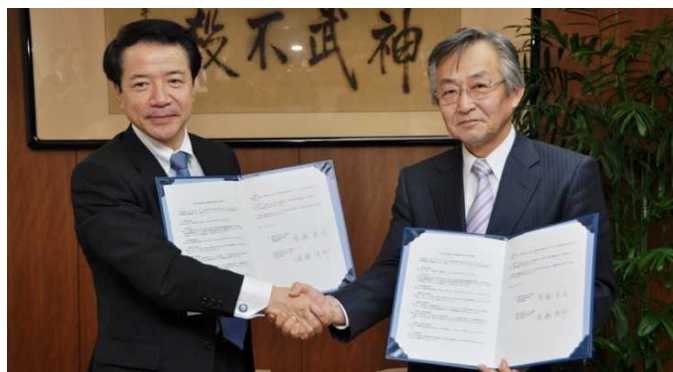
富山銀行

富山銀行職員派遣による富山大学との連携強化

富山銀行では、「地域経済の発展とお客様のご繁栄を通じて社会貢献を図ること」を経営理念のひとつに掲げ、その一環として、富山大学と連携した発展的かつ持続的な地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

富山大学では初となる寄附講義を平成16年から実施、また、平成17年12月には「包括的連携協力に関する覚書」を締結し、教育・研究・地域貢献の幅広い分野で学金連携事業を展開しています。

更なる第一歩として、昨年4月より当行職員を、富山大学地域連携推進機構へ地域連携推進員として常駐派遣しています。これは、当行と富山大学との間で、地域活性化に向けて協働することを目的として締結した「富山銀行職員の派遣研修に関する協定書」に基づく取組みです。当該職員は同大学において、地域活性化に資する各種事業の企画立案・運営・調査研究等の業務を行っています。なお、金融機関の職員を大学へ常駐派遣する事例は、全国的にも稀な試みです。



協定を締結した齊藤頭取（左）と遠藤学長（右）



齊藤頭取による寄附講義



議論を交わす金岡教授（左）と桶川行員（右）

富山銀行職員派遣による富山大学との連携強化

5月のシステム移行に合わせて通帳デザインを一新しましたが、新デザイン選定に当たっては、富山大学芸術文化学部の学生を対象に「新通帳デザイン・コンペティション」を実施し、グランプリに選ばれた作品を実用化しました。この取り組みは、富山大学との包括的連携協力の一環であり、今後も同大学と協力して、教育の推進と地域社会の活性化に努めます。

審査会の様子



グランプリを受賞した川原由紀さん



新通帳デザイン



選考基準

- ① 富山銀行らしさのイメージ創出
- ② 印象に残るデザイン
- ③ 携える魅力を重視